

「東二小やる気キッズ」

青葉区中央市民センター
(地区館×区中央)

1 事業概要

仙台市立東二番丁小学校の児童が東二小やる気キッズメンバーとして、自分たちの興味を追求しながら、地域の人や子どもたちに喜んでもらえること・楽しんでもらえることをテーマに企画・運営をしました。学校外の場である市民センターで、異年齢の児童や市民センター職員等と一緒に活動することで、自己肯定感を高めることを目的としています。



2 今年度の活動

おばけやしき



7月より、仙台市立東二番丁小学校の児童7名（1年生2名、2年生4名、3年生1名）が東二小やる気キッズメンバーとしての活動をスタートしました。定例会を、月1回程度実施し、10月30日（土）の「おばけやしき&スポーツゲーム」（会場：青葉区中央市民センター）の開催に向け、話し合いや準備を重ねてきました（企画会議・準備／6回実施）。

スポーツゲーム



イベント当日は49名（小学生24名、大人19名、幼児6名）の来場があり、中高生のジュニアリーダーのサポートも得て、学年や年齢をこえた交流の場となりました。来場者からは「おばけやしきのクオリティが高くてよかった」「2才の子でも出来るゲームで楽しかった」等の声が寄せられ、やる気キッズのメンバーは来場者に楽しんでもらったことで達成感を感じていました。

3 成果と課題

子どもたちが協力しながら企画・運営を行うことで、やりがいや達成感を感じ、主体的な行動力や探求心を育むことが出来ました。最後の定例会のふりかえりの時間では、企画・運営の経験を通して、子どもたち同士、気づきや学びを共有することが出来ました。さらに来年度へ向けての改善点やアイデアのほかにも「来年も参加したい！」と前向きな意見も寄せられ、次への活動につなげる機会となりました。今後はさらに、子どもたちが主体的に地域と関わる場の設定を検討していく必要があると思います。



4 今後の展望



子供たちが、地域の世代や立場が異なる人たちと交流することで、社会性や主体性が身につきます。また地域の一員としての自覚も芽生え、地域活動に積極的に参加することで地域の活性化にもつながります。市民センターでは子どもが持っている力を更に引き出すためにも、子どもたち一人ひとりの意見や提案を尊重し、活躍の場を作り出すことで、地域と子どもの連携を図っていきたいと思います。